

常磐文藝

巡禮者 飯村閑舟

淡い心よ悲哀の鈴よ 踏みしめ歩む草鞋の先も 疲れの葉草千切れ果て 喚く寵児の聲しぐれ 失ふ吾子よ母人は 世國を巡り津々浦々の 情味の人の戸毎を訪ひて 手杓に賽銭込み貰ひ 『離れる島の孤獨鳥、愛せ 兒を持つ親御よ、温味の世 人』

歌ふ其度び涙は頬を 傳ひか、のこの詰りか 静寂な暗夜のこゝろを 思ひやり、恐怖の念に 髪をむしかく鬼蛇の如く 思ひ思ひて今宵はも 困果の宿の安宿に 泊めきめて寝もやらの 旅藝人や思ひ浮く名 忽然、誘惑... 張り来る蜘蛛の糸巻きよ、 母は吾子なの幻影描き 硬きの一念惑ひを振りて 明朝の紅き神日を仰ぐ お、それはお前の 面顔を拜し、お前と 對談する如き母の慰む はれ来る胸よ (完)

神戸海上運送 火災保険代理店 共保生命保険 株式會社警東代理店 加藤實業社 電話三二五二番

内科・外科・婦人科 デアテルミー光線科 花柳病科・胃腸病科 松村病院 平町南町電話二〇七番

高久病院 平町田町電話五二一三番 内科・外科・耳鼻 咽喉科・花柳病科

赤心堂病院 平町田町電話四七五番 内科・外科・花柳病科 耳鼻咽喉科・婦人科

大音堂看板店 平町四丁目 電柱廣告を始めました 廣告御希望の御方は

御希望通りな 一冊の代金で 五冊の雑誌が 自由に読める 平町長橋町三五 川崎回文庫 (申込次第規則書進呈)

牛肉と葡萄酒 米國スエット會社一號 コンビーフ牛肉 正味九十 久入一罐 金四十錢 甲斐産商店勝沼工場製 大黒葡萄酒 正味 金一圓七十錢 洋酒鐘詰食料品商 西村屋藥舖 平町二丁目 電話三三番

大蒲焼。鰻井 多少に不拘御用仰付願上候 割烹 大和家 平町南町(電話十四番)

洋傘 夏帽子 新荷着 別仕立夏トンビ! 平町四丁目 鶴屋 電話一四〇番

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

評判第一 久保田パン

好子店 良品ヲ安ク賣ル クーナーリ 関内藥舖 藥劑師 関内栄助 電話四〇番

株買中值 Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and exchange rates.

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and exchange rates.

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and exchange rates.

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and exchange rates.

Table with columns for bank names (e.g., 磐城銀行, 平銀行) and exchange rates.

東新株 先限 實物 前場後場共入電致居候 平町田町 電話三二二番 丸登株式会社 川添房二郎

常磐新聞 刊夕日六十月六 發行編輯人 川崎文治 福島縣石城郡平町字長橋町廿五番地 發行所 常磐毎日新聞社

寄書 黨人根性を排す 中山雅司 古人は身を持する秋霜の如く他を遇する春風の如くと言ふた、加藤内閣が其政綱の第一に掲げたる綱紀の肅正を斷行せんとせば、自巳は素より他に對しても敢て春風の如くに寛客であつてはならぬ、所謂稅政多年人心亦倦怠し中央は勿論地方に於ける綱紀の弛緩は實に驚くべきものが多々ある今日に於て、之れを緊張せしめ民心を一新せしむるには何うしても大掃除の斷行は餘儀ないものである

綱紀の肅正は山積せる情弊の根絶である、之れが爲めに新内閣として先づ大斧を振はねばならぬ、蓋し内閣更迭に伴ふて畑違ひの地方官撤官は黨人根性としては當然の處置であるかも知れぬが、地方自治は地方本位であらねばならぬ立場よりして頗る迷惑千萬である、天下取りの餘威を揮つて無暗に黨人政治を實現する場合、地方の輿望必ずしも之れを謳歌するものではない、彼れは系黨違ひなるが故の理由は時に良二千石を地方に失はしめて怨聲を購ふ如き結果無しとはせぬ

そこで地方官の更迭は黨人根性の之れに加味するを絶対に避けねばならぬ、然らざる場合、所詮は鳥の雌雄を論せらるるのみ、今回出現の加藤内閣に期待する事の多いそれだけ、其内外庶政の一新も公正を基調とし綱紀の肅正を本願とし、此信條によりて系統的論議に陥るなく、他迄人格及び忠實の實際的努力を基準として地方人心の、爲めに動搖するが如き事の無からん事を豫め考慮すべきである綱紀肅正とは必ずしも畑違ひの撤官を意味するものではない

### 發電所不當許可に關し 知事は誠意を披瀝す

衛生技師を派遣して厳密な調査を遂げしむる旨の言明

#### 伊坂町長の經過談

伊坂町長以下の發電所不當許可問題に關する陳情委員は昨日午後一時廿七分平野着平郡線にて福島から歸平したが伊坂町長は陳情の經過に關し左の如く語つた

「香坂知事は此問題に就いて非常に好意を示されまして、即ち東京より歸福後の知事に會見を申込んだ處仲々の重要問題であるから執務中にて種々の用件に取り紛れる様な事があり事情を聞き洩したりする様な事では困るから午後三時半からは困るから午後三時半から

#### 陳情經過

昨日聚樂館に

#### 面會し

度いこの事に一昨日委員の一行は同時刻迄に縣廳に出頭しました當日は縣の教育會が開かれ知事は夫れに出席した爲め會見したのは午後四時でしたが經過頗末を陳情する我々の言葉を一言もろそかにせず終始緊張した態度を以つて聴取され尚ほ肝要な点に就いては一々質問を爲されまして其結果其場に於て『成程保健衛生上重要な問題であるから早速衛生技師を派遣し嚴密なる調査を遂げた上で許可を取消すか否やの態度を決する事にする』と懇篤に申されました、夫ればかりでなく

#### 農商主任

諸般の事項を

石城郡農商主任會は本日午前九時から郡議事堂にて開會左記事項を協議した(指示事項)農事必行事項に關する件、簡易土地改良獎勵の件、産業組合設立及既設組合改善の件、

#### 常磐片々

道路の球投げに愈警察署本氣で乗り出す遅い、遅い、

知事は發電所不當許可問題に就いて誠意を示す

此良二千石を誤らし許可の決判を押さした土木課長何んの顔あつてか知事公にまみれんとする

泥棒にも三分の理あるを知らしむるが如き辯明書を書いて居る暇に尻に帆を掛け逃げ出せ、逃げ出せ、

### 又銀星勝つ 少年野球組織

平町銀星俱樂部にては田町青年丸合の聯合軍を向ふに廻し十四日午後四時から磐中グラウンドに野球試合を試み卅七對七にて銀星大捷を博した尙ほ銀星俱樂部にては少年野球團を組織し連日猛練習中の由

### 運動遊戯を取締る

檢舉及び説諭が數十名  
ラケットを沒收  
平町にては近來非常に運動熱が旺盛になつたが適當な運動場が無い爲少年や店員連は街路上で庭球や野球の練習を爲し交通を妨害するので本紙不平受付欄等にも數通の投書があり平署にても是れを取締りに當惑して居たが此程交通取締の結果檢舉及び説諭されたもの數十名に達し十二日午後五時頃にも平町字五丁目田巻足袋店方徒弟遠藤俊(一)が平郵便局員佐藤某と庭球練習中巡回の警官に發見されてラケットを沒收されたが右に關し伊藤署長語る『運動場も無いのだからとて大目に見て置たのであるが益々街路上で運動遊戯を爲す者が増加し實際に交通上の弊

### 大捷を博す

平遞友  
十六對八にて  
若松を屠ふる  
既報昨日の郡山町開盛山公園に於ける福島、若松、平の各郵便局野球チームの試合に於て平遞友俱樂部は大捷を博し意氣天を衝くの概を示して昨日午後七時歸平した即ちスコアは若松は十六對八福島とは雨の爲めに中止の止むなきに至つたが勝味は充分であるから水氣を乾かしておくのがよろしいです、毎日使はなものは胡麻油でもヘツトでもよいから、全體に塗つておけば決して錆ません

### 不平受付

投書歡迎  
遠藤分團長の答  
附屬品等が取揃はぬ爲め着なれた和服の方が萬事に都合よい爲め團服はごうも手を通したからないのですしかし折角先調製した事でもあり今後は着用を督勵する事にします

### カテイラン

庖丁のさびぬ方  
庖丁は始終水をつけたり鹽氣をつけたりしますから、さうしてもさび易いもので、さうかといつて使つた度毎に磨ぐことは容易ではありませんから、使つたらよく乾いた布巾で拭いて、そのうへ火にかざして、すつ

### 着物のカビは

入梅頃になりますと、前によごれた部分はカビてまゐりますから、まづ日光にあて、カビをよく乾かせづら

### 小名濱恐慌

隔離病舎の竣工を急ぐ  
石城郡小名濱町内に三四日前から傳染病が一日中に五名も發生したるは既記の如くである爲町民は何れも戦々兢兢たる有様であるが同町にては海水浴場として且つ鱈の魚獲もあるの初夏より秋にかけては來客引きも切らざる盛況を毎年呈するのであるが爲め斯うした傳染病の發生は誠に憂ふ

### 徴集免除者

平町の  
其數卅九名  
本年度徴兵検査の結果平町に於て徴集免除を終結せる氏名左の如し  
片寄幸太郎、佐々木光男

### 警水會の研究

平町  
田町薩摩琵琶警水會本部にては昨日午後七時から彈奏研究の爲め會員各自の彈奏あり茶話會を開き午後十時散會した

### 徴兵

不參出告發  
佐藤檢事宛に  
本年度の徴兵検査に當り所在不明の者十三名、無届不參の者一名あつたが何れも此程徴兵官水野郡長から佐藤檢事に告訴された其氏名は左記の如くである

### 石城郡長が

夫れども君は變性男子か  
男子は思ひ切りが肝要だ

### 泉村鈴木七郎、上遠野

村葉谷要三、田人村芳賀、萬治、石住村小玉辰太郎、川部村飯田金一郎、湯本町豊田辰五郎、内郷村遠藤十四、小名濱町小野喜一郎、同町山崎捨太郎